

年 月 日

○○市長
○○ ○○

印

(お問い合わせ先)
〒000-0000
〇〇市1丁目2番3号

国保課
電話 000-000-0000
内線 11223

- 1 あなたの納付額が、この通知書のとおり納め過ぎになりました。
お返ししますので、お知らせします。 なお、還付加算金は、請求後に計算します。
- 2 別紙の過誤納金還付請求書の太枠内に、請求日、義務者本人の住所、氏名、フリガナ、電話番号、金融機関名、支店名、預金種目並びに口座番号を記入してください。公金受取口座を利用する場合は、「☐公金受取口座を利用する（利用する場合は口座情報の記入不要）。」にチェックを記入してください。また、個人番号についても記入してください。同封の封筒で返送された後、追って払込通知書を送付します。
- 3 なお、義務者が死亡の場合は、代表相続人が請求してください。その際に、氏名の前に代表相続人を併記してください。口座をお持ちでない方又は収納課で現金受領を希望される方は、御連絡ください。
- 4 現金受領の際は、過誤納金還付請求書をお持ちください。
- 5 この通知書は、納付の証拠となりますので、大切に保存してください。
- この通知について不服のあるときは、この通知を受けた日の翌日から起算して3か月以内に首長に対して審査請求をすることができます。この決定の取消しを求める訴え（処分の取消しの訴え）は、前記の審査請求に係る判決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内に当庁を被告として（首長が被告の代表者となります。）提起することができます。
- なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する判決を経た後でなければ提起することができないとされていますが、
- ① 審査請求があった日から3か月を経過しても判決がないとき、
- ② 処分、処分の執行又は手続きの続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、
- ③ その他判決を経ないことにつき正当な理由があるとき、
- は判決を経なくても処分の取消しの訴えを提起することができます。

還付金額 (③+④)		科 目	賦課年度		通知書番号		納めすぎた理由	
			対象年度				理由日付	
金融機関名								
預金種別		口座番号						
口座名義人			支払予定日					

① 納付した金額						② 正しい金額			③ 過誤納額 (①－②)		
期月	収納日	領収日	調定額	督促料	延滞金	調定額	督促料	延滞金	調定額	督促料	延滞金
		合 計									

④ 還付加算金

[illegible]